



TOCO-TON 明科

No. 56 R8. 2. 13 発行
TOCO-TON 指導主事

1 明南小2年生活科『みそづくり』

2月6日(金)

おみそ作り とても楽しかったです!! (2学年だよりから)

6日(金)は、生活科で1時間目から3時間目まで「お味噌作り」の体験学習をしました。12月に「お豆腐作り」でお世話になった『えべや』から、2名のスタッフさんに来ていただきました。

はじめに「何を使って作る?」の問いかけでは、「大豆・米こうじ・塩」と答えられた人がいて、学習が盛り上りました。前日、動画で作り方について予習してあってよかったです。圧力釜で大豆を煮た後、「煮汁を除いて耳たぶくらいに柔らかくなった豆を、ミンサーに入れてつぶす」というお手伝いをお子さんたちが体験させてもらい、モンブランを想像させるような管状になった豆が、幾つもの穴からニヨロニヨロと出てくるのを、新鮮な眼差しで見ていました。

その後、米こうじと練り状になった豆を捏ねて混ぜる作業も一人が3回ずつやらせてもらいました。混ざったところで丸めてだんご状にし、空気を抜くために強く投げて容器の中に入れました。仕上げに表面を平らにしてビニールを載せて蓋をしました。その後は冷暗所に置き、1回天地をひっくり返して半年~1年位で食べられるそうです。

次に、みそを使ったお料理を作っていました。だしを取り、持ってきていた『えべや』の“みそ・油揚げ・ネギ”を少々入れた味噌汁を一人ずつ飲ませていただきました。みんな「おいしい~!」と言って一口一口味わって飲んでいました。

続いて、予め炊いてもらったご飯を一さじずつラップの上にもらい、一人一人丸めて平らにつぶしたものを、フライパンで両面を焼いてもらって、自分たちで「みそだれ(みそ・さとう・ごま)」を付けて、お家に持ち帰り用タッパーに入れました。

終わりに、今回作ったみそはすぐには食べられないので、『えべや』さんで作っているおいしいおみそを、一人ずつ袋に入れたお土産としていただきました。お子さんたちはおみそのいい香りを嗅ぎ大喜びでした。

まとめとして、何人かに感想を発表してもらいました。「おみそのつくり方を、今回はじめて知ってうれしかった」「おみそづくりがぜんぶ楽しくて、おみそしるもおいしかった」「おうちでもやったことあるけど、きょうの方が楽しくてためになつた」など、それぞれが心に残る楽しい体験学習になったようよかったです。

最後に、ここまで2年生のために準備をして分かりやすく体験させてください、お土産まで準備してくださった『えべや』の皆様に心からお礼を申しあげます。

<みそづくり等の様子>



ふかした大豆の味見では「柔らかくてトロトロだ」「膨らんで柔らかくなった」、ミンサーに入れてつぶす際には「けっこう力がいるな」「納豆みたい」、米こうじと練り状になった豆を捏ねて混ぜる作業では「あたたかかった」「ザラザラしている」、ご飯を丸めて平らにする際には「柔らかくて気持ちいい」「自分がしたいペッタンコな形になった」等々、実際に体験しなければ感じることができない子どもたちのつぶやきが聞かれました。スタッフさんの、「(みそは) 生きてるものだから、毎年全く同じにはならないんだよ。」「また、皆さんに会いたくてね。楽しいことが大事だよ。」というお話も印象的でした。

明南小も明北小も、生活科や総合的な学習の時間での『食』に関して、明科農産物加工ひろば『えべや』さんにお世話になっています。継続できるつながりが生まれていることは、子どもたちにとっても、事業所のスタッフさんにとっても大変喜ばしいことです。

2 明南小全校縦割り交流活動『あおぞらキッズ リーダーバトンタッチ』

